

全社の目的・目標と実績

当社は、各部署で生じる環境に影響を与える活動、製品、サービスを洗い出したうえで、会社が管理すべき環境目的、目標を設定し、環境負荷低減の取り組みを行っています。

平成18年度目的・目標と実績

【評価】 ...良い ...普通 ...悪い

取り組みテーマ	環境目的	平成18年度目標	平成18年度実績	評価
地球温暖化防止	鉄道電力の削減	鉄道電力の削減推進	運転用電力量(京阪線) 対前年度比2.48%削減 運転用電力量(大津線) 対前年度比4.63%削減 付帯用電力量 対前年度比1.24%削減	
	エコオフィスの推進	電力使用量 対前年度比1.2%削減 ガソリン使用量 対前年度比0.5%削減	電力使用量 対前年度比11.0%増加(105kwh増加) ガソリン使用量 対前年度比±0%削減(±0%削減)	
騒音・振動の低減	列車の騒音振動低減	鋼桁の有道床化(複線3m、複々線16.5m) 1 踏切警報音の減音(5踏切) 車両の防音車輪化(58両) 2 ハンタグラフ舟体のCFRP化(20台) 3	鋼桁の有道床化(複線3m、複々線16.5m) 踏切警報音の減音(9踏切) 車両の防音車輪化(65両) ハンタグラフ舟体のCFRP化(20台)	
環境にやさしい物品の購入	グリーン購入の推進	インターネットによる文房具類の環境対応品購入率 77%	環境対応品購入率 81.5%	
資源消費の削減	エコオフィスの推進	紙使用量 対前年度比0.5%削減 水使用量 対前年度比0.1%削減	紙使用量 対前年度比3.5%増加(245千枚増加) 水使用量 対前年度比1.9%削減(7,909m³削減)	
環境コミュニケーション	情報開示の推進	環境報告書2006の発行	2006年6月に発行	
	美化活動の推進	駅付近、沿線の清掃活動の実施	京都市(まちの美化推進事業団)主催の清掃活動に参加(6月3日) 宇治駅周辺で、清掃活動を実施(12月2日)	
研究開発	環境配慮設計推進			
	列車の騒音振動低減技術検討			

1 コンクリート橋への改築により騒音振動を低減する。 2 p35「防音車輪の採用」参照 3 p35「CFRP製ハンタグラフの採用」参照

平成19年度目標

取り組みテーマ	環境目的	平成19年度目標
地球温暖化防止	鉄道電力の削減	使用電力量 平成17年度比2%削減
	エコオフィスの推進	電力使用量 対前年度比+5.7%に抑制 4 ガソリン使用量 対前年度比±0%維持
	公共交通利用促進	公共交通利用促進に関する取り組み検討 及び施策実施
騒音・振動の低減	列車の騒音振動低減	鋼桁の有道床化(複々線19.5m) 踏切警報音の減音(5踏切) 車両の防音車輪化(44両)
環境にやさしい物品の購入	グリーン購入の推進	インターネットによる文房具類の環境対応品購入率 80%
資源消費の削減	エコオフィスの推進	紙使用量 対前年度比0.1%削減 水使用量 対前年度比0.8%削減
環境コミュニケーション	情報開示の推進	CSR報告書の発行
	美化活動の推進	京阪グループ社員による春秋2回の沿線清掃活動 地域清掃活動への参加
	エコステーションの推進	樟葉駅において取り組みを推進する。 京阪グループの環境活動の取り組みを駅においてアピール することを「エコステーション」と位置づけ、推進する。
研究開発	環境配慮設計推進	
	列車の騒音振動低減技術検討	
	紙使用量削減方法検討	

4 管理対象の増加によるオフィス電力使用量の増加を見込んでおり、増加の程度を抑制することを目標とする。